

牛久：学校周辺に見る自然

第50号 ひたち野うしく小

2021年1月16日発行

< 秋のみずべ公園 ～⑨鳥のなかま >

ひたち野うしく小4年生と歩いた秋のみずべ公園、今回は鳥のなかまです。小雨降る中、冬鳥のハシビロガモ、ヒドリガモも見られました。



数羽ずつ群れて泳ぐ、カモがいました。冬鳥のハシビロガモです。くちばしの幅が広いので、嘴広鴨（はしびろがも）。くちばしがちゃ色っぽく、全体的にじみな色をしているのがめすで、くちばしが黒くやや目だつもようをしているのがおすです。なぜ、くちばしが幅広いのでしょうか？それは、植物の種子やプランクトンなどを水と一っしょに飲みこんで、くちばしで食べ物だけをこし取るためといわれています。



数羽ずつ群れるハシビロガモ（上）。くちばしが褐色で目だたないのがめす（左）、くちばし黒く目だつのがおす（右）。



カルガモの群れにまじって、冬鳥のヒドリガモも見られました。カルガモは黒いくちばしの先が黄色いのが特ちょうで、一年中日本にいます。ヒドリガモは海岸で生活するものもいて、そこでは海藻も食べるそうです。

カルガモの群れ（左）にまじるヒドリガモ（右）。

その他、下の写真左から、おなじみのハクセキレイ、キジバト、コゲラ、シジユウカラも見られました。

【理科支援員：宮内】

